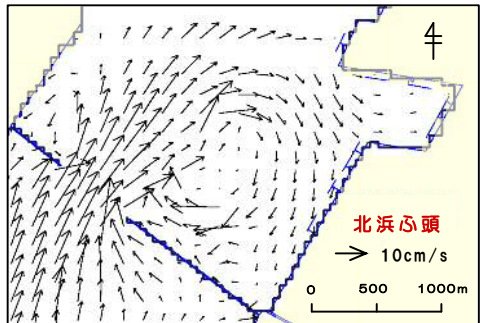
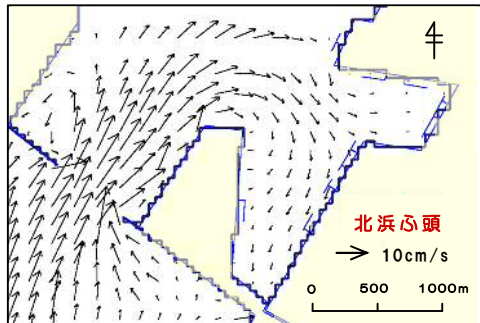
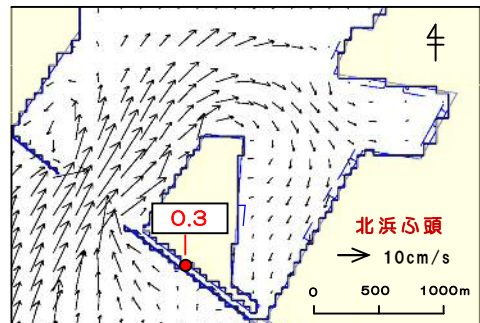
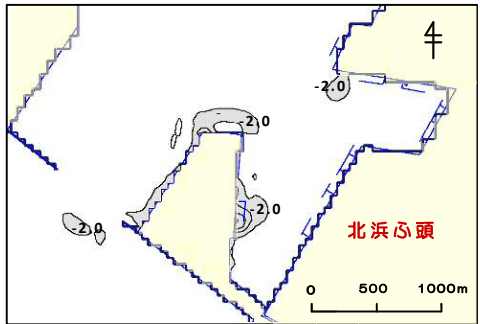
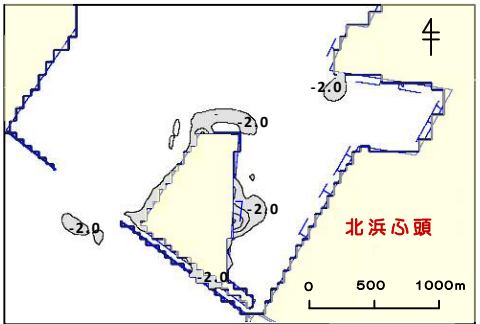
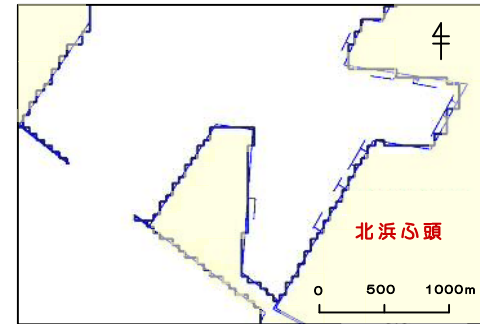


流況

数値シミュレーションによる流況の予測結果(夏季・平均流・底層(最下層))

名称	現況	A案	B案
予測結果	 <p>北浜ふ頭 → 10cm/s 0 500 1000m</p> <ul style="list-style-type: none"> 湾奥に向かう流れの一部が、北浜ふ頭前面に回り込み、北浜ふ頭と高潮防波堤に沿って時計回りの大きな渦を生じています。 	 <p>北浜ふ頭 → 10cm/s 0 500 1000m</p> <ul style="list-style-type: none"> 湾奥に向かう流れの一部が、北浜ふ頭前面に回り込んでいます。 	 <p>0.3 北浜ふ頭 → 10cm/s 0 500 1000m</p> <ul style="list-style-type: none"> 湾奥に向かう流れの一部が、北浜ふ頭前面に回り込んでいます。 水路内の流れは、ほとんどありません。

※ B案の数値は水路内の流速を示します。単位は cm/s、流れの向きは東航路側を指しています。

	A案 - 現況	B案 - 現況	B案 - A案
流速差	 <p>北浜ふ頭 0 500 1000m</p> <ul style="list-style-type: none"> 北浜ふ頭前面において、平均で 2cm/s 程度の流速低下域がみられます。 	 <p>北浜ふ頭 0 500 1000m</p> <ul style="list-style-type: none"> 北浜ふ頭前面において、平均で 2cm/s 程度の流速低下域がみられます。 	 <p>北浜ふ頭 0 500 1000m</p> <ul style="list-style-type: none"> 流速差はみられません。

※ 灰色で着色した範囲は現況よりも流速が低下する範囲を示します。コンター線の間隔は 2 cm/s です。

流況

埋立実施による北浜ふ頭前面の流況変化

A案、B案ともに、埋立実施による北浜ふ頭前面の流況について、現況と比べ、主な流れは変わりませんが、平均で 4cm/s 程度の流速増減域がみられます。

⇒ A案、B案ともに、現況と比べ、流速が変化する水域が北浜ふ頭前面や東航路開口部周辺にみられることから、埋立実施による流況への影響が懸念されます。

A案とB案の比較について

B案の水路については、水路内の流れがほとんどなく、北浜ふ頭前面の流況に変化を与えるほどの効果はみられません。

⇒ A案、B案では、流況に大きな違いはみられません。

評価の
視点

得点 3 : 影響は軽微である
得点 2 : 影響が懸念される
得点 1 : 影響は大きい

評価の
結果

A案 : 得点 2
B案 : 得点 2

A案、B案ともに、埋立実施による流況への影響が懸念されます。なお、両案の流況に差はないものと考えられます。